



子ども会で学ぶ体験活動の大切さ

会長 須田 貴子

日頃より、地域での子ども会活動にご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。また、元日の能登半島地震で被害に遭われました皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、昨年新型コロナウイルスが五類移行となりましたが、感染禍での期間が長かっただけに新役員の皆様も活動経験がないまま引継ぎをされ、大変だった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。最高学年の子どもたちも同様、新しい活動にチャレンジしたいと思う以前に、コロナ前にやっていた活動の経験がないまま卒業してしまったり子どもも多くいたのではないのでしょうか。

実際に体験したことがない活動を実行に移すのは、とても大変なことですが、それゆえ、大人がついつい子どもに指示命令を出してしまいがちですが、あまり手を出しすぎると子どもも無意識に「誰かがやってくれる」「自分ひとりじゃなくても大丈夫」等という考え方を持つようになってしまいがちです。時として、子どもの考えたことを見守り、解らないこと・出来ないことは大人が手伝う、といった大人の姿勢も大切なことだと、八月に開催された関ブロ（関東甲信越静地



区子ども会、ジュニア・リーダー研修大会と二月末に実施した関ブローユース・リーダー研究協議会で学ばせていただきました。子どもとひとくくりに言ってしまうのは大変失礼ですが、私から見ると子どもは年齢のユース・リーダーはもう立派な青年指導者で、本当に何から何まで頼りになる存在でした。

小学生のときに体験し、中高生になつてジュニア・リーダーとして経験したこと、高校卒業後に積極的に地域活動に参加して習得したこと、そして、これからの知識をジュニア・リーダーの上に立って指導してきたこと等、自分の言葉で伝えることが出来る大人として成長した姿はとても立派でした。今回の関ブロジュニア・リーダー研修大会に参加したジュニア・リーダーが十年後、再び今大会が新潟県に戻ってくるときにはユース・リーダーとして活動の企画から加わって大会を盛り上げてくれることを期待しつつ、今後のジュニア・リーダーを養成するための研修会をさらに充実していきたいと思っております。

新潟県子連では、リーダーズクラブに加入し、一緒に活動して下さる中学生〜四十歳までを広く募集しています。市区町村子ども会でも中高生生のジュニア・リーダーを育成していないところも多くあるようですので、養成したいところ、個人でも加入したい方がいらっしゃいましたら、お気軽にご連絡いただきたいと思います。

そして今後も、子どもの未来を見つめ、子どもに関わる地域の一歩身近な大人として、保護者や子どもたちに寄り添い、活動できることを模索しながら、安全に配慮した体験活動等を実施したいと考えております。

結びに、これから夏の活動を計画されている子ども会も多くあるかと思いますが、是非その際には、最新の安全対策を活動計画の中に取り入れ、子どもたちが安心して参加できる活動となりますよう、ご配慮のほど宜しくお願い申し上げます。なお、指導者・育成者向けの安全啓発研修会も実施しております。講師派遣ならびに出向しての開催も可能ですので、お気軽にご相談下さいますよう、お願い申し上げます。

今後の予定

- 関ブロ総会（山梨県甲府市役所）
六月二十三日（日）〜二十四日（月）
- 第一回関ブロ推進研究会（全子連ビル）
六月二十九日（土）〜三十日（日）
- 安全啓発初級指導者養成講習会（長岡市千手コミセン）
六月三十日（日）
- 第一回JL中級研修会（国立妙高青少年自然の家）
七月六日（土）〜七日（日）
- 関ブロJL研修会（長野県）
八月十七日（土）〜十九日（月）

五月十九日(日)、新緑の南魚沼郡湯沢町において、来賓に県生涯学習推進課長 小川智子様、湯沢町教育長 種村公夫様、国立妙高青少年自然の家所長 水澤哲様、新潟県少年自然の家所長 伊藤彰様を迎え、県子連総会が執り行われました。



第四十九回県子連総会を終えて

副会長 風間 浩一

開会式では、子ども会活動に尽力された個人・団体の皆様が須田会長より表彰され功績が称えられたのち御来賓より御祝辞をいただきました。小川智子氏は以前六日町(現南魚沼市)に勤務をされていたことがあり、湯沢町も担当地区であったことから、会場の湯沢町公民館は何度も訪れたことがあり、周辺の季節ごとの風景を思い出し懐かしく思っていたと語られていました。また、種村公夫氏は湯沢町の学区変更プロジェクトに関わり、状況が定常化したことから次世代プロジェクトのために再び町に呼び戻されたとのこと。

当地湯沢町には子ども会という組織がないためにこれも一つの検討材料ともなるのではと語られておられました。県子連としても一層の啓蒙活動として活動状況の発信をしっかりとしていかなければと考えさせられた一言でした。式典後、総会となり、前年度の事業報告・決算報告及び監査報告がなされいづれも満場にて承認されました。本年度は役員改選の年にあたり理事会によって選出された新役員も満場を持って承認されました。総会の後半は新年度事業計画及び予算案が提出され審議の結果これも満場を持って承認を得、総会は終了となりました。

総会後に、全国子ども会連合会の西尾正則氏を講師に迎え、県内でもそう遅くない時期には移行せざるを得ない単位子ども会のネット加入について説明を受けました。関心のある子ども会からも講演聴取に参加いただき熱心な質疑や提案が寄せられました。県子連は令和八年度創立五十周年となり、組織としての大きな節目を迎えることから、会のあり方や活動内容を考え直す時期に差し掛かったとも言えます。これからの会の未来を思い描き、後進へ託す準備を進めることとなった会でありました。

令和6年度 県子連役員所属一覧表

顧問：武士俣昭司 代表理事：須田貴子 ◎は部長 ●は副部長

Table with columns for Name, Position, and Region, listing members of the prefectural children's union across various municipalities and departments.



謝辞

長岡市子ども会連絡協議会 椿 達也

この度、県子連表彰をいただきました事は受賞者一同、身に余る光栄であり、心より感謝申し上げます。私は市子連に入会し九年という年月が経ち長いよつな気になつていますが諸先輩方々からみればまだ足元に及ばない経歴にもかかわらず、このような賞を得ました事は、ひとえに市子連、県子連の先輩方々からのご指導とご協力の賜物と感謝しています。

振り返れば九年前、地元学区で開催された学校関係者が参加する小中学校合同新年会があり、その会の席でいきなり「今年度市子連やってくれない」「別に大丈夫だから」と言われ、正直市子連とは何なのか？何が大丈夫



なのか？わかりませんでした。何となくボランティア的な事なんだろうと思いついて「了解」と返事をし「理事会があるから出席してきて」と言われ参加したのが市子連との関わりのはじめでした。

私は市子連入会前にもPTA副会長、会長やスポーツ少年団(野球)の団長などボランティア的な活動を行っており、大変ではあるが、やりがいや楽しさの方が勝る事を知っており市子連活動も貴重な体験ができ、人のために役立つと同時に自分のためになるはずという思いもあり市子連活動の挑戦を始めた次第です。

青少年のより良い人格の形成には段階があり、とりわけ学童期は様々の人との出会いや体験が豊かな成長を促すことから市子連としては情操教育の一端を担っていかねければならないと思っています。これまでの活動が表彰という形で実を結んだ事を大変嬉しく思うと共に、これまでご指導いただきました皆様に感謝申し上げます。

中越地区

楽しいあやや会

十日町市荒屋子ども会 四年 矢口 夏梅

私の地区子ども会では、きもだめしや花火、クリスマス会、お正月行事、六送会など、いろいろ楽しいことをやりました。その中でも特にいんしょうのようにこったことは二つあります。

一つ目は、きもだめしです。りゆうは、きもだめしみたいなかわいことは苦手だけど、三人グループで歩いてゴールまで行ったので、くらい道だったけどあまりこわくなかったし、楽しかったからです。お父さんたちがおぼけ役をしてくれたり、パンダの着ぐるみを着て出てきてくれたりしておもしろかったです。

きもだめしの後に花火もしました。とてもきれいでした。友だちと夜に花火ができて最高の思い出になりました。



二つ目は、クリスマス会です。クリスマス会では、クリスマスツリーを作ったり、いろいろなゲームをしたり、クレープも自分で作りました。クリスマスツリー作りは、ツリーの形にするのがむずかしかったです。どんなかざりつけにしようか考えながら作りました。友達の作品もいろいろなアイデアがあつてすてきでした。最後にはビンゴをしました。一番先にビンゴになった人からけい品のプレゼントをもらえました。かわいくてうれしかったです。

こんなふうにあややの子ども会では、楽しいことがたくさんあります。あややには、やさしい人、おもしろい人、明るい人、元気な人、いろいろな人がいて、毎年とてもとても楽しいです。今年も来年もさ来年も楽しいあやや子ども会をしていきたいです。



下越地区

スケート体験

新潟市関屋大川前一区子ども会
五年 山川 幹太

ぼくは、春休みに子ども会の行事であるスケート教室に行きました。

まずスケート教室に着くと、スケートぐつのはき方を教えてもらい、くつをはきました。

次に、リンクに出て一列にならんで進み方を教えてもらいました。

まずは、歩くようにすばやく足ぶみする進み方です。次は、かた足の時間を長くする進み方でした。

次に本かく的にすべりました。まずは、リンクの反対側に行ったり来たりしました。だんだん慣れて、上手になってきた感じがしました。

次に、リンクをぐるっと一周しました。さつきよりは、なれてきて無事、一周できました。

その後、自由周回になりました。

ぼくは、できるだけリンク

のほじのさくにつかまらなようにしました。一方通行のリンクのまんな中を何周もすべりました。



ですが、足ぶみの進み方は簡単なのに、かた足の時間を長くする進み方ができませんでした。

なので、がんばって時間をのばしていきました。それで二回連続でできました。すべっていくうちにみんなも上手になってきました。

自分も上手になって、楽しい時はあつという間に終わりました。もつとすべりたかったです。

今回のスケート教室で、スケートは、なれるととても楽しいし、やりがいのあるスポーツのイメージがより強くなりました。自分一人ですべれることがうれしかったです。

スケート教室にまた行きたくありませんでした。その日スケートのおかげでいい一日になりました。

のほじのさくにつかまらなようにしました。一方通行のリンクのまんな中を何周もすべりました。

佐渡地区

思い出の夏

佐渡市栗野江地区子ども会
六年 中嶋 悠

ぼくたちは、夏休みにみんなで集まって、ひまわり畑に行ったり、バーベキューをしたりしました。ひまわり畑は、栗野江の子ども会のみんなで植えました。ぼくが植えた、ひまわりもちゃんと育つてきれいに咲いていました。

みんなでひまわりと一緒に写真を撮りました。

次にバーベキューをしました。バーベキューでは、保護者がお肉や野菜などを焼いてくれたり、やさそばを作ってくれました。どれもとてもおいしかったです。食べ

終わったら花火をしたり遊んだりしました。とても楽しかったです。



ここ数年はコロナウイルスのえいきょうで行事が中止になっていました。なかなか子ども会のみんなで集まることができなかったの、久しぶりにみんなと集まってわいわい楽しくできて楽しかったです。

編集後記

県子連総会が、新緑が目に見える湯沢町で開催されました。七名の新しい理事、監事が承認され、令和六年度の県子連の組織、事業計画・予算が決まりました。

今年は、六月十六日のリーダーズクラブ集会から活動が始まります。今後の研修や講習会等への皆様の参加をお待ちしています。ぜひ、子ども会活動に関心をお持ちの方への声かけもお願いいたします。

忙しい中、原稿を執筆してくださった皆様に心より御礼申し上げます。(文責：佐藤 裕)

【編集発行】

一般社団法人
新潟県子ども会育成連合会
〒九五一-八三三
新潟市中央区白山浦一三〇〇
電話 〇二五-三三〇-五九八
FAX 〇二五-三三〇-五九二